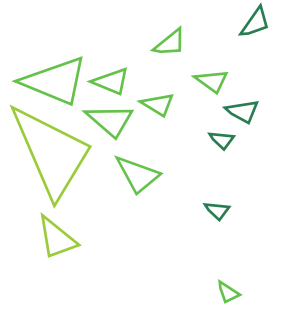


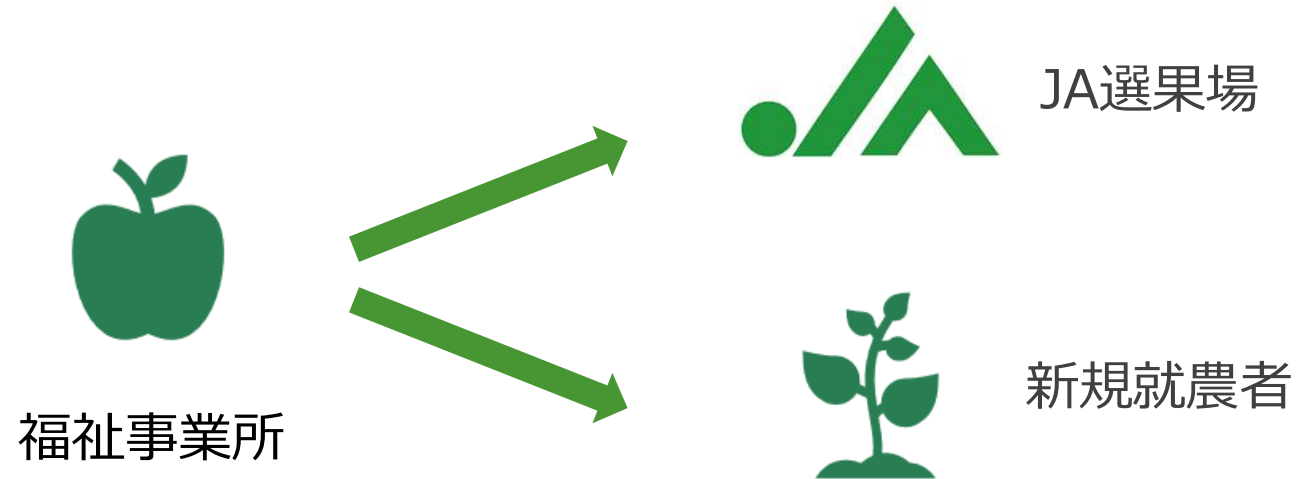
農福連携促進事業委託業務

②農福連携マッチング支援

農福連携マッチング支援



マッチング先として大きく2つのターゲット



農福連携マッチング支援



JA選果場

- ・受入インフラが期待できる
- ・将来的な地域への波及効果



福祉事業所

- 地域の福祉事業所
- 特別支援学校



新規就農者

- ・手作業が多い
- ・新しいことへの挑戦心に期待



農業生産者と障がい者就労施設との農作業請負のマッチング支援を目的



アンケート

全道のJA組織の農福連携の取り組み具合、労働力不足など。



ヒアリング

農福連携の意向のあるJAに対し、具体的な農福連携の可能性を探る。



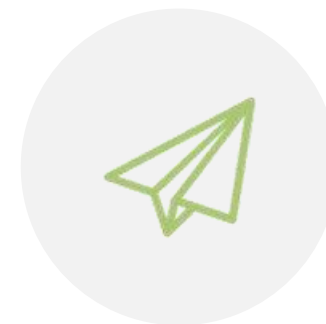
見学する

農場に福祉施設から来てもらう。
福祉施設に行ってみる。



体験する

農場のしごとを体験してもらう。



実践する

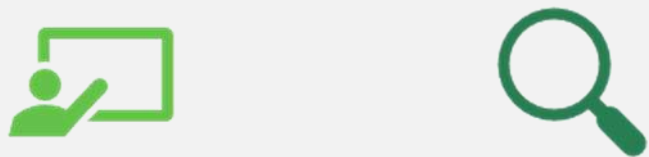
農福連携を実践する。

農福連携マッチング支援 (新規就農者)



理想実現のためのロードマップ

農業生産者と障がい者就労施設との農作業請負のマッチング支援を目的



説明会・セミナー

農福連携を知る

想定する

種類、制度など
いろいろな形があります。

農場での作業を分解して
人に任せられる作業を考え
てみる。



見学する

農場に福祉施設から
来てもらう。
福祉施設に行ってみる。



体験する

農場のしごとを
体験してもらう。



実践する

農福連携を実践する。

【障がい福祉事業所向け】
「障がい福祉サービス事業所の【施設外就労】に関する調査」

【調査票の回答にあたって】

- 1 本調査は、障がい福祉サービスにおいて就労支援をご担当されている方にご記入をお願いいたします。
- 2 質問は、①該当する選択肢に「○」を付けるもの、②数値を記入するもの、③具体的な内容を記述頂くもの、
がございます。
 - ・「○」を付けて頂く質問では、回答が明確に分かるように「○印」をご記入願います。
 - ・又、「○」を付けて頂く質問には、選択肢から「1つ」を選ぶものと、「いくつでも（複数）」選んでいただくもの
がございます。
それぞれの指示に従ってご回答をお願い申し上げます。
- 3 答えにくい質問、答えたくない質問については、記入する必要がありません。答えられる範囲でお答え願います。
- 4 回答については、メールにてお願いいたします。
※インターネットの環境が整っていない場合は、FAXでご回答願います。

OE-mail : d-syurou@dosyakyo.or.jp

OFAX : 011-280-3162

○受付期間：令和元年10月25日（金）～11月15日（金）

農福連携マッチング支援（JA選果場）



アンケート

- ・全道 108 の農協様を対象
- ・2019年7月29日 営農推進部局ご担当者様宛に投函
- ・8月～9月末回答先に電話にて協力要請

農福連携マッチング支援（JA選果場）



共通質問（農福連携について・施設の有無）

- Q1. 農福連携という言葉が知られていますか？
- Q2. 農福連携に関するセミナー・情報提供などへの参加、利用意向
- Q3. 施設の有無
- Q4. 人員不足の状況と不足となる時期
- Q5. 農福連携の意向

Q5 の回答によって振分け

質問Ⅱ（実践しているJA）

- Q1. 取扱い品目
- Q2. 労働不足など課題作業、農福連携作業
- Q3. 課題
- Q4. 農福連携を推進するために必要と考えること

質問Ⅲ（条件が整えば検討するJA）

- Q1. 取扱い品目
- Q2. 労働不足など課題作業、農福連携を想定する作業
- Q3. 農福連携を始めるにあたっての課題
- Q4. 取り組むための条件

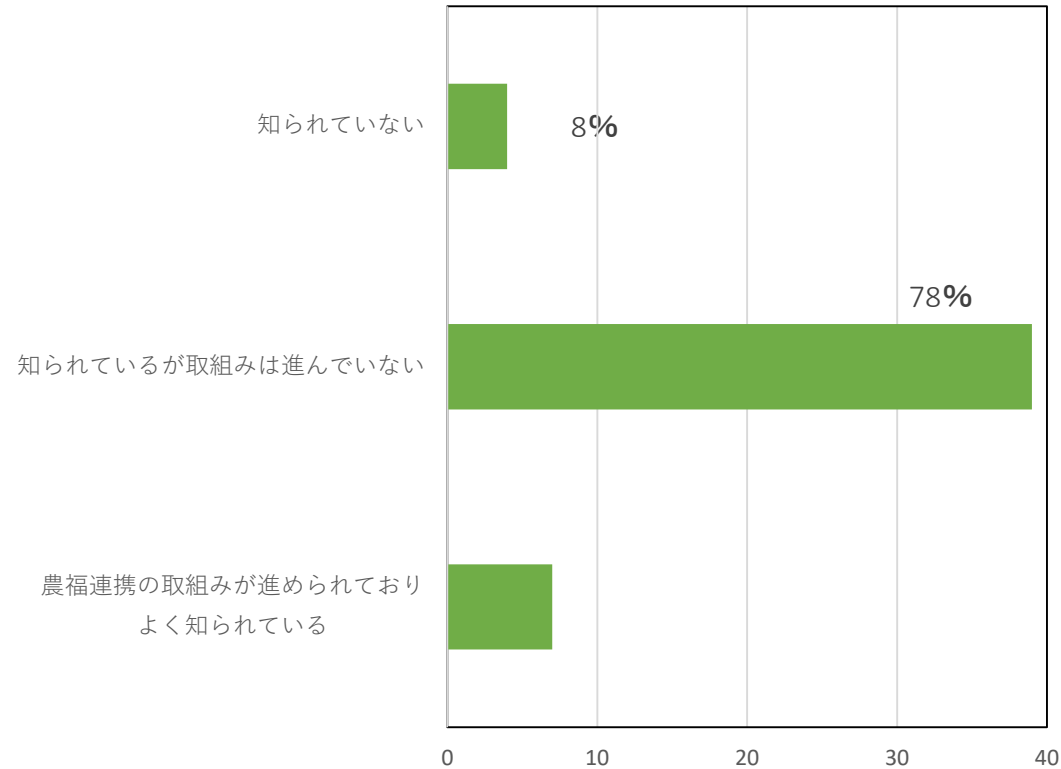
質問Ⅲ（予定していないJA）

- Q1. 取扱い品目
- Q2. 労働不足など課題作業
- Q3. 予定しない理由

農と福祉がつながって、日本を元気に！

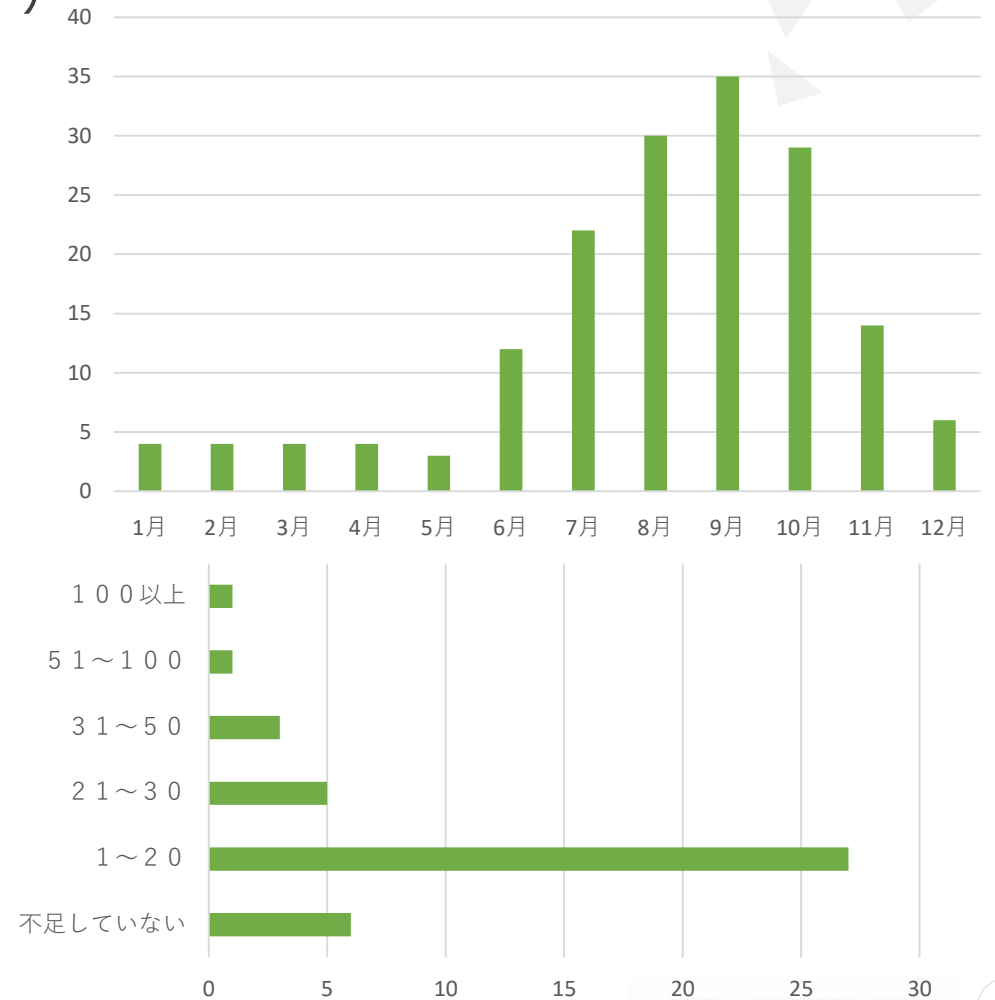
農福連携マッチング支援（JA選果場）

アンケート結果（回答数 52 うち施設を有するJA 43）



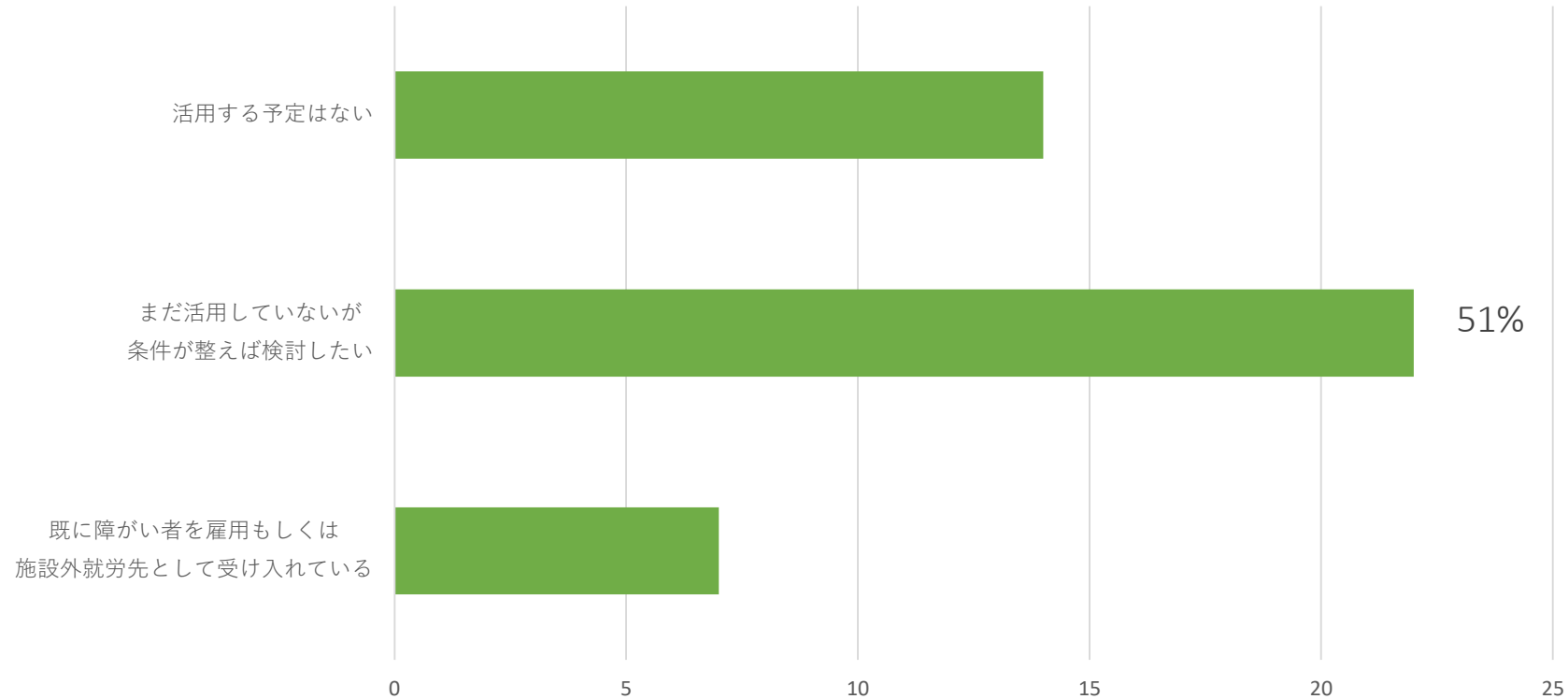
共通質問 Q1 農福連携という言葉が知られていますか？

共通質問 Q4 労働力不足の状況



農福連携マッチング支援（JA選果場）

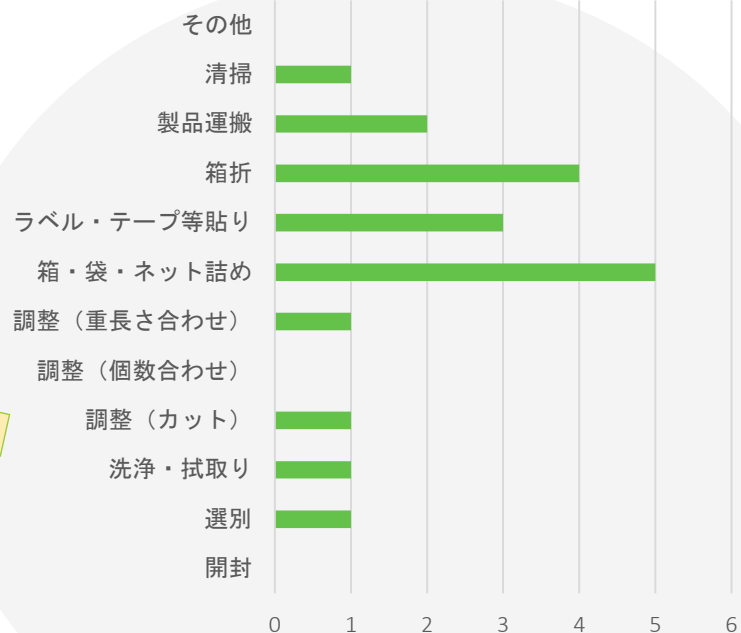
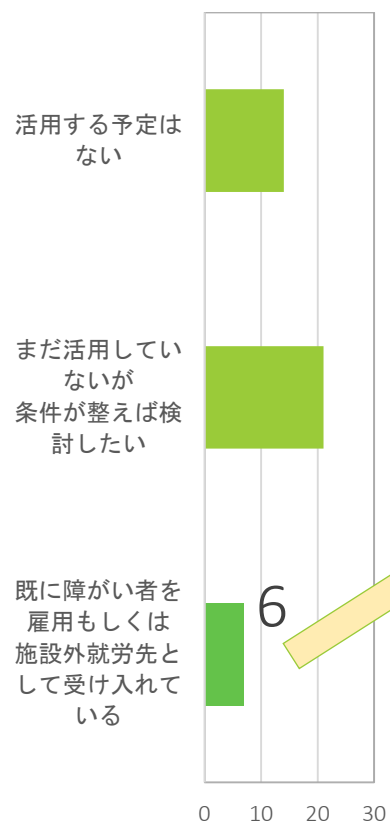
アンケート結果（回答数 52 うち施設を有するJA 43）



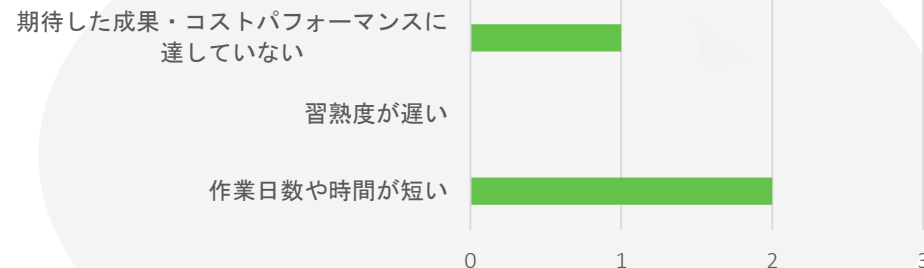
共通質問 Q5 障がい者を活用することについてどう考えていますか？

農福連携マッチング支援（JA選果場）

アンケート結果（回答数 52 うち施設を有するJA 43）

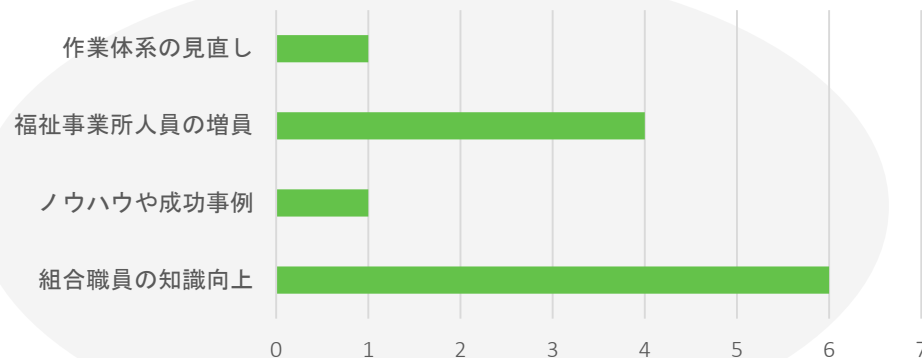


質問Ⅱ Q2 農福連携を実施している作業



その他 突発的な作業を依頼できない

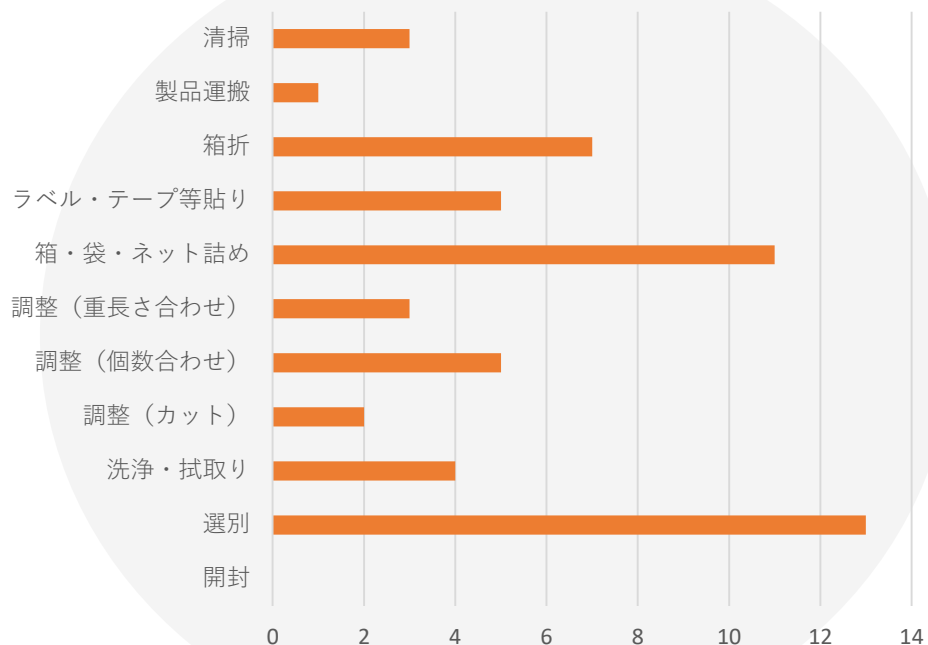
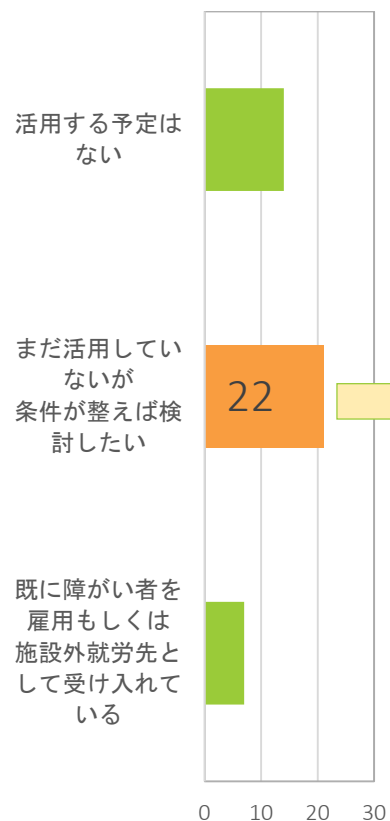
質問Ⅱ Q3 農福連携を実施しての課題



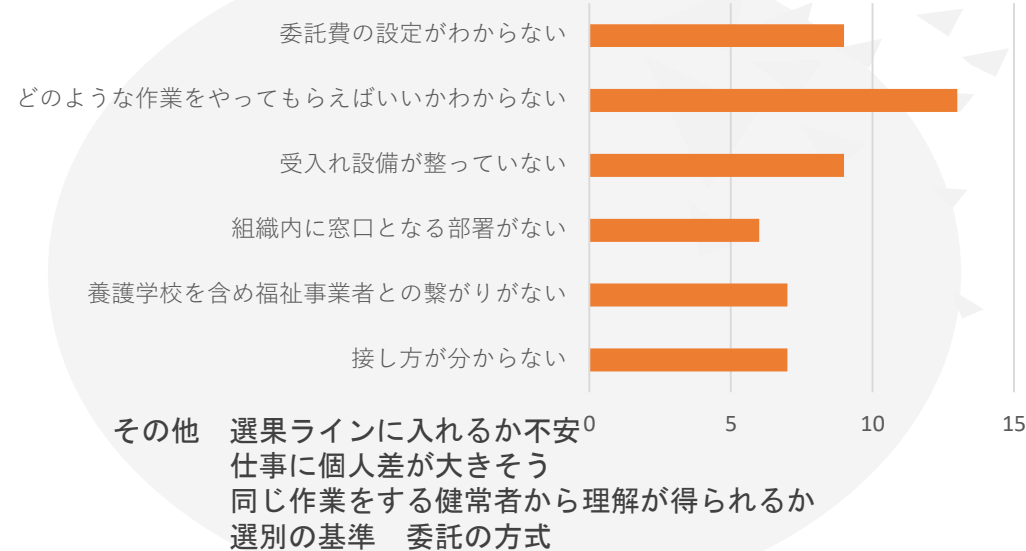
質問Ⅱ Q4 更なる農福連携推進に必要なこと

農福連携マッチング支援（JA選果場）

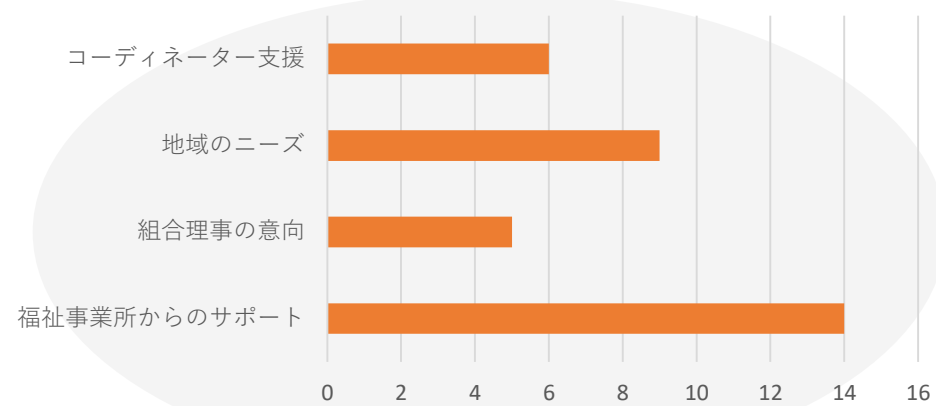
アンケート結果（回答数 51 うち施設を有するJA 42）



質問Ⅲ Q2 労働力など課題を抱えている作業もしくは農福連携を検討している作業



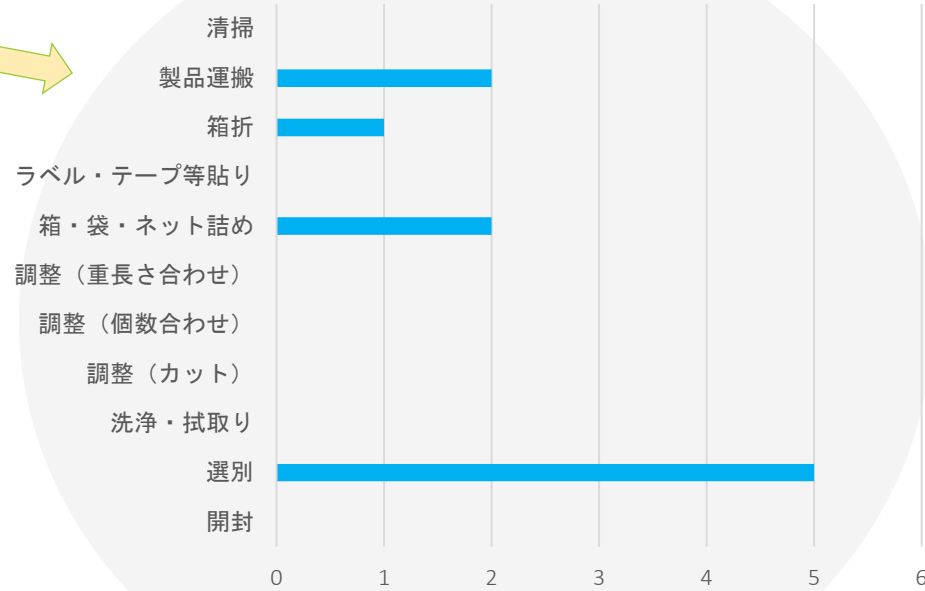
質問Ⅲ Q3 農福連携に向けての課題



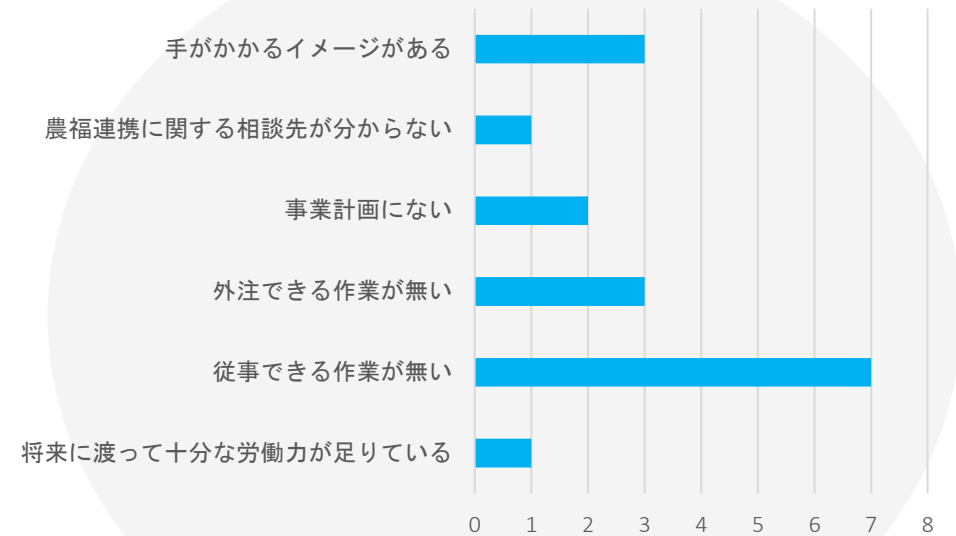
質問Ⅲ Q4 農福連携の実施に必要な条件

農福連携マッチング支援（JA選果場）

アンケート結果（回答数 51 うち施設を有するJA 42）



質問Ⅳ Q2 労働力など課題を抱えている作業



質問Ⅳ Q3 農福連携を予定していない理由



マッチング支援先の選定



- 事業への協力に対し賛同
- 組合員に就労継続支援B型事業所を運営する農業者があり、マッチング支援を行っていく際の課題解決に協力いただける体制



余市町農業協同組合



🔍 ヒアリング

段ボール 箱折作業

メインのミニトマト以外の野菜（大玉トマト、ピーマンなど）の箱折作業がある。

ミニトマトのへた取り

ミニトマトを原料としたジュースを製造。
加工工程にへたを取る作業がある。

マッチング支援先の選定



北後志自立支援協議会 第44回 就労支援部会（8月21日）

- ・事業の説明
- ・施設見学会のご提案
- ・事業の期間 冬場は？
- ・JA向けの福祉学習会
- ・対象者 法人、個人、生活困窮者



見学会（9月4日）



北後志自立支援協議会
メンバー18名

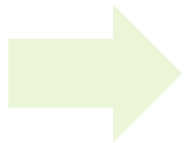


質問事項等は
一旦自立支援協議会事務局で
取り纏め

ヒアリング 北後志自立支援協議会 第45回 就労支援部会 (10月16日)

作業内容について

- ・仕事内容的にできそう。ハードルが高い作業ではない（箱折、へた取り）
- ・ミニトマトの選果行程は難しいだろう（箱詰め）
- ・箱に入ったりんごの運搬は体力がある利用者に限られるだろう
- ・音に敏感な利用者は難しい
- ・足の悪いパートもおられたが現場で環境を対応されていた
- ・危険個所について大きく掲示をしてもらえると良い
- ・手話が使えるとありがたい

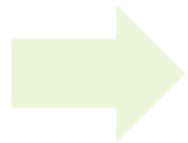


想定した箱折、へた取りは可能

ヒアリング 北後志自立支援協議会 第45回 就労支援部会 (10月16日)

作業時間・作業期間

- ・一日あたり4時間程度でも大丈夫か？
- ・90分作業をして10分程度の小休憩を挟むような作業体系は可能か？
- ・年間作業のスケジュール感を知りたい。
- ・いつ頃からスタートし、受入可能人数の推移。
- ・一日のノルマ（数値目標）を作るやり方になるのかどうか



時間設定、スケジュールが課題

ヒアリング 北後志自立支援協議会 第45回 就労支援部会 (10月16日)

工賃について

- 一律での支払いとするのか、能力差をつけての支払いとするのか
- 給与体系の設定について



工賃設定が課題

ヒアリング 北後志自立支援協議会 第45回 就労支援部会 (10月16日)

農福連携の体制

- ・個々の事業者が施設外就労への参加を希望して、個々での対応とするのか、北後志自立支援協議会が窓口となるのか？
- ・一つの理想形として、その日作業に入れる人の情報を共有・マッチングし、協議会の参加メンバーがジョブコーチ的な役割を当番制で支援する
- ・JA側の方にも利用者の作業を見学していただきたい
- ・利用者に自信を付けさせるために、作業者は固定した方がいいのではないか？
- ・利用者の障がい特性の幅が広いのでJA側で受入の基準を決めてもらった方がいい
- ・支援事業所での既存作業に加えて作業を行うということで、気分転換にもなり、新しい世界が広がることで能力の向上にもつながり意義がある

ヒアリング 北後志自立支援協議会 第45回 就労支援部会 (10月16日)

その他

- ・余市町のブランドに関われる仕事でモチベーションを高くもてる
- ・JAと連携できることは感激
- ・将来的にJAが障がい者を組合員に仲介することができるようになると良い



JAに対する大きな期待
地方では農産物が町の顔 (ブランド・プライド)



見学会（12月予定）

JA職員の福祉事業所見学会を実施

（福祉事業所利用者の働きぶりを確認していただく）



- ・作業委託の期間、日数、時間帯
- ・工賃の考え方
- ・利用者の取り纏め

来年度の農福連携実現に向けた具体的な協議

農福連携マッチング支援（新規就農者）



説明会・セミナー



農福連携促進事業委託業務 農業者のための 農福連携セミナー

北海道では、「農福連携」における農業生産者と障がい者就労施設との農作業請負のマッチング支援を目的としたコーディネート事業を農福連携促進事業委託業務により実施しております。このセミナーは、新たな農福連携の実践を目標とし、農業者を対象に、農福連携を知っていただくことでの農福連携をはじめの切欠づくりとして開催いたします。

開催日時：令和元年 **7月9日(火)** 18:10~20:00

開催場所：だて歴史の杜カルチャーセンター 集会室（伊達市松ヶ枝町34番1）

1. 概要説明：「農福連携とは？」

北海道社会福祉協議会 マッチング事業コーディネーター 大泉 浩一 氏

2. 報告：農福連携実践者報告

合同会社 竹内農園 代表 竹内 巧 氏

3. 意見交換・名刺交換会

定員 **20名** 参加費 **無料**

お申込み方法 申込み書に事業所名、お名前、住所、所属・役職名をご記入のうえ、FAXまたはメールにて7月8日(月)までに一般財団法人北海道農業企業化研究所へお申し込み下さい。

主催：北海道

運営事務局 「農福連携促進事業委託業務」受託コンソーシアム
一般財団法人 北海道農業企業化研究所

札幌市中央区南1条西10丁目3番地 同一条道銀ビル4F TEL:(011)233-0131 FAX:(011)233-0133

農業者のための農福連携セミナー（7月9日）

だて歴史の杜カルチャーセンター（伊達市）



農福連携を知る

『農福連携とは？』

道社協マッチング事業コーディネーター 大泉浩一 氏



想定する

『農福連携実践者報告』

合同会社竹内農園 竹内 巧 氏

農と福祉がつながって、日本を元気に！



農福連携マッチング支援（新規就農者）



説明会・セミナー



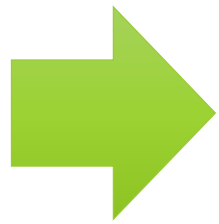
農業者のための農福連携セミナー（7月9日）

伊達市、壮瞥町、安平町、豊浦町 16名

- ・農業者が障がい者を受け入れることに対して、国などからの補助金はあるのか？
- ・自分の町には重度障害者の施設はあるが、就労支援施設はない。
- ・作業請負できる福祉事業所があれば繋がりたい
- ・福祉事業所の職員が足りず、施設外就労が出来ないと言われたことがある。
- ・福祉事業所側が農業（外での仕事）を嫌がって実現しなかった。

農福連携マッチング支援（新規就農者）

農業者のための農福連携セミナー

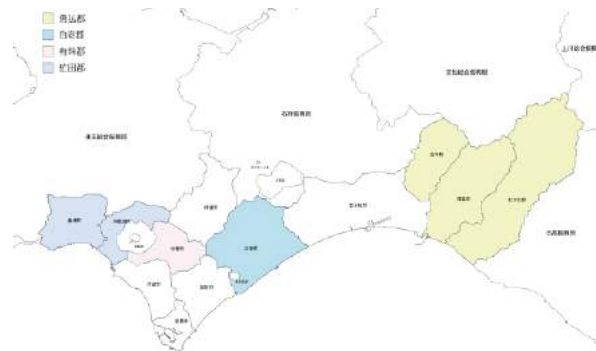


将来的に農福連携を考えたい
豊浦町でも検討したい



豊浦町

- ・担当者ベースで農福連携の模索
- ・町の農業者、福祉事業者が顔を合わせる機会



農福連携マッチング支援（新規就農者）



説明会・セミナー

第1回豊浦町農福連携等障がい者就労支援勉強会 （9月26日 豊浦町役場）



農福連携を知る

『農福連携とは？』

道社協マッチング事業コーディネーター 大泉浩一 氏

『豊浦町における福祉事業の状況』

総合保健福祉施設やまびこ 武田貴博 氏

『農福連携実践者報告』

社会福祉法人トラプ i・box 職業指導員 郡司 佳明 氏

第1回豊浦町農福連携等障がい者就労支援勉強会

豊浦町の概要

人口：4,291人（H30.国勢調査）

主産業：農業（いちご、養豚他）および水産業（ホタテ、カレイ他）

障がい福祉サービス

事業項目	事業所数
生活介護	2
就労継続支援B型	1
共同生活援助	2
施設入所支援	2
計画相談支援	2
障がい児相談支援	2

障がい区分利用者数：（R元年9月）

身体	知的	精神	障がい児	難病等
9	28	8	0	0

第1回豊浦町農福連携等障がい者就労支援勉強会



町内に就労支援施設が1か所しかないが
人手不足で事業拡大に踏み出せない

- ・隣町の福祉事業所に送迎している
- ・障害年金だけでは自立した生活ができないが、
町内に入れる就労支援施設が無い
- ・子どもが中学生の頃から相談をしているがもう20歳を過ぎてしまった

- ・現在、研修中だが外国人労働者よりも
農福連携に期待している
- ・パート従業員を雇っているが
継続性を考えて農福連携にも取り組んでいきたい
- ・人手が足りなくなるのが明らか

町外からの参入に期待？

農福連携マッチング支援（まとめ）

ターゲット	場所	ロードマップ進捗状況
J A 選果場	J A 余市	 <ul style="list-style-type: none">・ J A に対するアンケート調査を実施・ J A ならびに福祉事業所に対すヒアリングにより双方の意見を吸上げ・ J A 選果場の見学会を実施・ 福祉事業所の見学会を予定（12月）・ 来年度での体験会、農福連携の実践に道筋
新規就農者	胆振地区 豊浦町	 <ul style="list-style-type: none">・ 新規就農者に対するセミナーの実施・ 福祉事業者（利用者）と農業者の顔合わせを実施・ 豊浦町における農福連携の課題を共有・ 継続的な話し合いの場を設定・ 来年度の見学会の実施に道筋